



子どもの神経発達症群（発達障害）について

～じぶんの特性を理解して生きるために～

小児科 科長
石田 悠

1. 神経発達症群って何？

落ち着きがない、忘れ物が多い、友達とのコミュニケーションが苦手など日常生活で困りごとを抱えているお子さんは少なくありません。これは単にやる気がないとか、怠けているとかではなく、生まれつきの特性が関わっているかもしれません。

得意・不得意の差が大きいため日常生活に支障をきたしている状態を神経発達症群(発達障害)と呼んでいます。注意欠如多動症や自閉スペクトラム症、限局性学習症(学習障害)などが代表的です。

2. 原因は？

まだはっきりとしていないことも多いですが、生まれつき脳の機能に不具合が生じているのではないかと考えられています。と言っても機能が低だけでなく、機能が高すぎるために苦労している可能性もあります。

3. どうやって診断するの？

知的能力などの心理検査をしたり、診断基準に照らし合わせて診断します。必要に応じて採血や画像検査を行うこともあります。幼いころからの行動や家庭以外の様子など、たくさんの情報があると判断しやすくなります。

4. 治療法はあるの？

まずは周りの大人たちが適切な接し方をすることです。本人は他人を困らせようとしているのではなく、自分自身が困っているのかもしれません。意識を切り替えて接する方法を一緒に考えていきましょう。それでも改善がなければ本人へのカウンセリングや薬物療法を検討しましょう。最終的にはお子さん自身が自分の特性を受け入れ、自分自身とうまく付き合っていくことが目標です。



マスク着用にご協力ください



新型コロナウイルス 感染予防対策実施中！

